

働き方変革
その先へ

RICOH
imagine. change.

2020年10月1日
リコーITソリューションズ株式会社
矢野 絵美

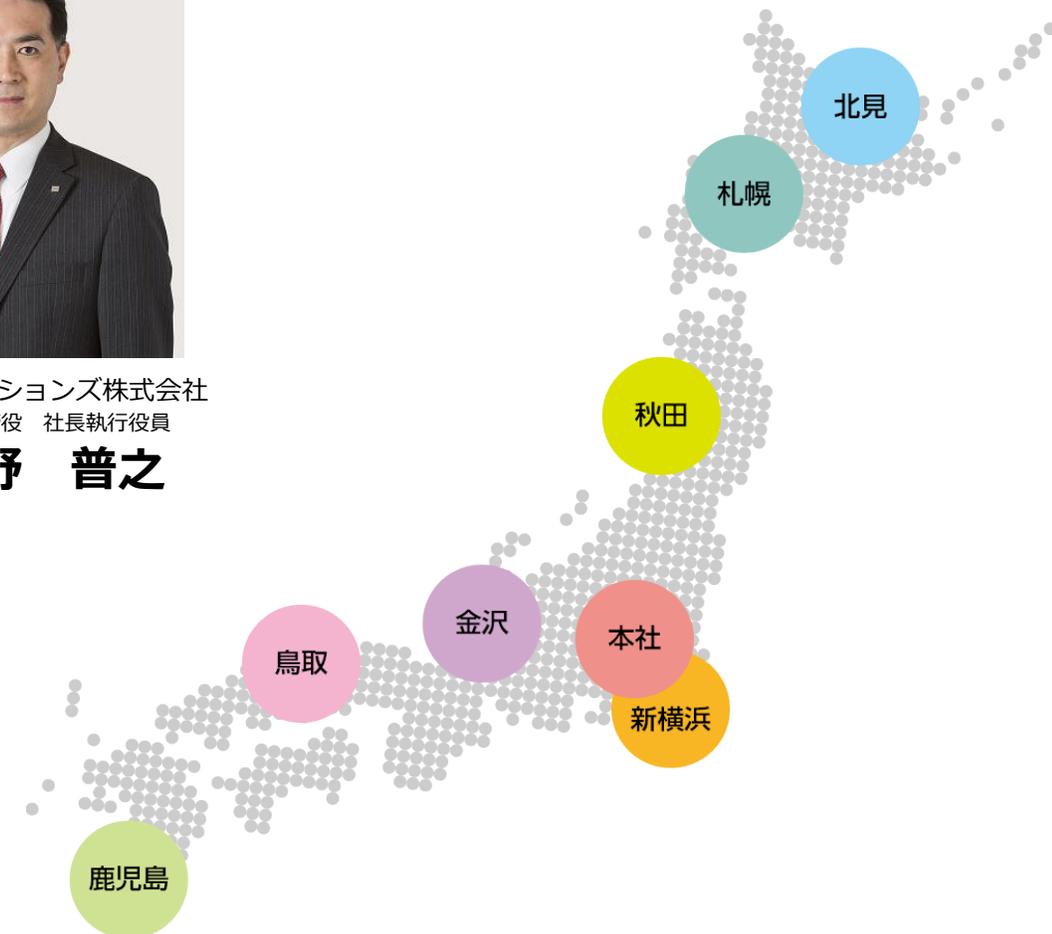
リコーITソリューションズ 会社概要

会社名	リコーITソリューションズ株式会社
設立年月日	1982年10月5日
本社事業所	神奈川県横浜市都筑区新栄町16-1
代表取締役 社長執行役員	石野 普之 (いしの ひろゆき)
資本金	2億 5000万円
従業員数	961名 (2020年4月1日 現在)
主要事業	エンベデッド事業 ソリューション事業 グループIT事業
事業所	北見/ 札幌/ 秋田/ 本社(横浜仲町台)/ 新横浜/ 金沢/ 鳥取/ 鹿児島 : 計 8拠点
関連会社	株式会社ソフトコム(北海道)



リコーITソリューションズ株式会社
代表取締役 社長執行役員

石野 普之



リコーグループの「働き方変革」とは（2017年度～）

社員が主体となって働きがい改革を進めることで、社員のエンゲージメントが高まり、
リコーグループの社員一人ひとりが、イキイキと働くこと。

そして、すべての社員が 最適なワークライフ・マネジメントを実現 すること。

そのために、「誰もが活躍できる環境づくり」と「一人ひとりの働きがいづくり」に取り組みます。

~~会社主体の
「働かせ方改革」~~

社員主体の
「働きがい改革」

一人ひとりの働きがいづくり
(意識・風土の変革)

誰もが活躍できる環境づくり
(ルールとツールの整備)

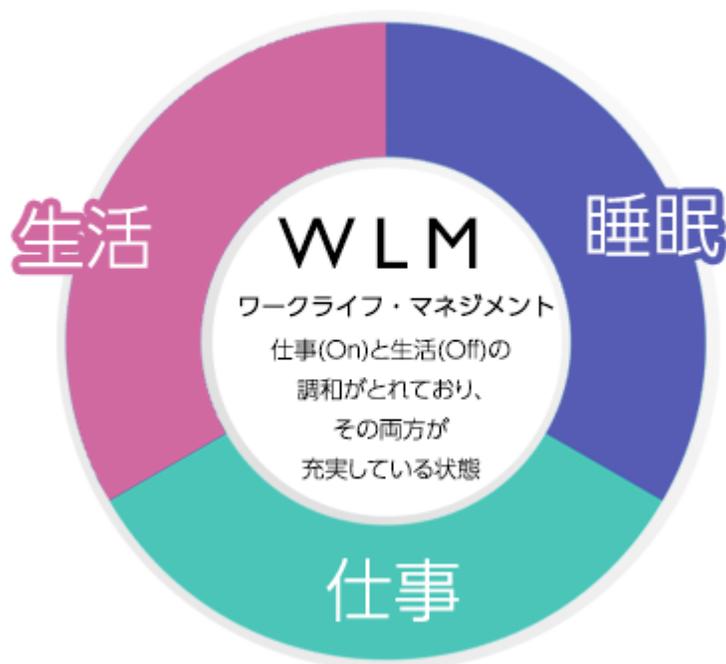
「働き方変革」の目指す姿と5つの取組み領域

目指す姿

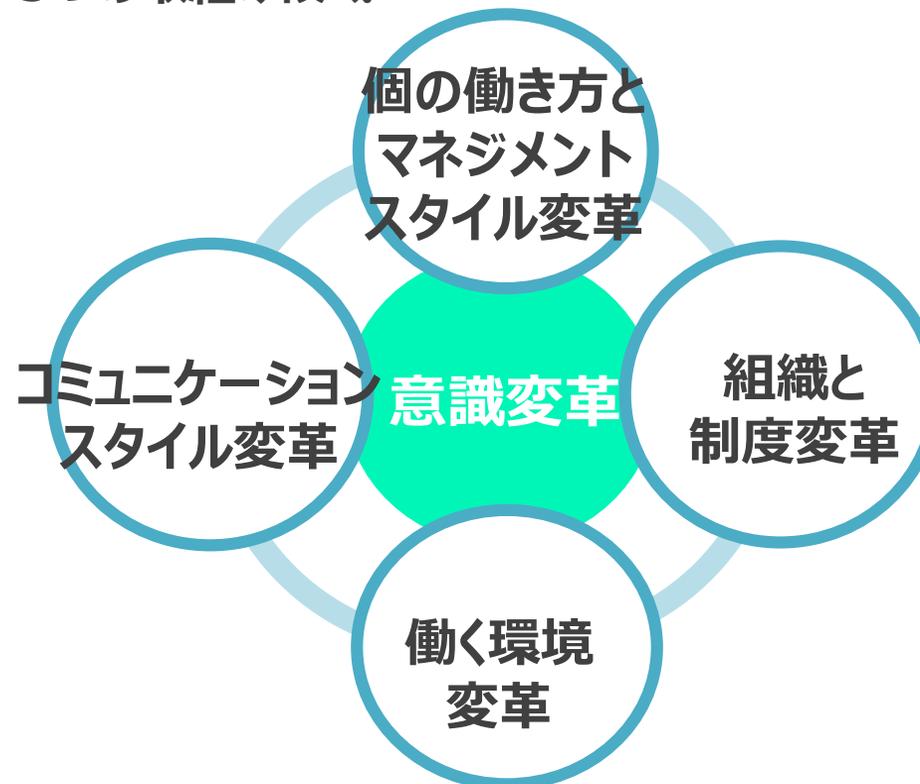
一人ひとりがイキイキと働き、個人およびチームとして最大のパフォーマンスを発揮し、新たな価値を生み出し続けることができる働き方を実現する

目指す姿の実現に向けて、「働き方変革」に5つの領域に取り組んでいます。

■コアコンセプト



■5つの取組み領域





テレワークの先行実践 意識変革プロモーション

多様な働き方の中から最適な働き方を「自ら考え選択する」という理念の共有

在宅勤務が目的ではない！

2017年5月

6月

7月

11月

マネージャー座談会の開催

全5回 53名のマネージャとの対話

マネージャー実践

全マネージャが必ず1回は実践

⇒ 自身で体感し、テレワーク社員の気持ちを理解

⇒ 個人とチームのバランスをとった計画づくり

社員との座談会

「今後の働き方について語り合う会」
全3回 74名と直接対話

自分で
選択

チーム
で選択

働き方を



社内SNSを利用した情報発信とディスカッション

働く、The day we change our workstyle.を変える日
TELEWORKDAY (テレワーク・デイ) 2017.7.24. 開催



テレワークルールの修正（2017年度～）

日々の事前申請廃止。テレワーク時も出社時と同じルールで！

	2013年度～2015年度		2017年度～
対象者	正社員、定年再雇用社員	変更無し	正社員、契約社員、定年再雇用社員※
利用日数	利用可能日数の上限なし ただし、週1日は必ず出社		利用可能日数の上限なし※ ただし、週1日は必ず出社
日々の利用申請	在宅勤務申請（Notes DB） ① 週計画の作成・事前の上司承認 ② 日報作成・上司承認	修正	在宅勤務申請（Notes DB→EIM） ① 週次計画・事前申請の廃止 → 0365 予定表で勤務場所・時間の共有 ② 日報の廃止

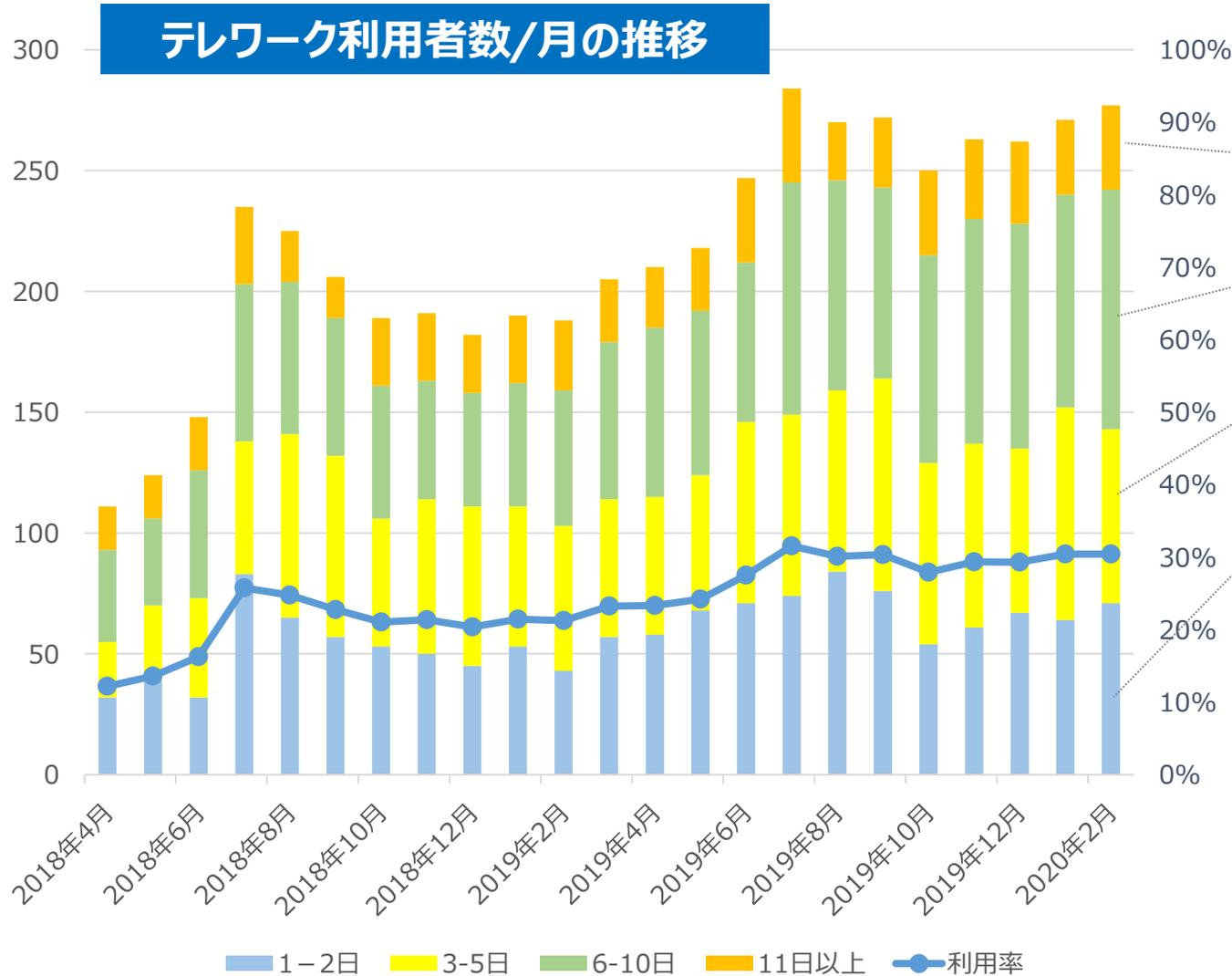
事前アンケート
突発業務で予め申請した日に在宅できない：77.2%

部門で最適な進捗報告・成果物管理ルールを実施
Teamsで在宅の開始・終了連絡、進捗報告、
成果物管理を実施する部門が増加

※リコーグループのルールよりも対象者、日数を拡大した先行実践

新しい働き方の実践効果（COVID-19前）

利用者数・利用頻度は定常化し効果も表れ始めていた（2018/4～2020/2）



主な活用目的

- 育児・介護・通勤困難者
- WLMの実現（自己啓発・通勤時間削減）
- 週1ペースで集中作業を自宅で実施
- 外出時や悪天候時に活用

- 全体的なテレワーク利用者数は**30%程度で推移**、利用頻度も一定の割合で定常化してきている
- チーム・個人の状況に合わせて、**各自が最適な働き方を選択**して働くということが定着化してきている



IT環境の総合的な再構築

新たな働き方の実現に向けてIT環境を総合的に再構築

相手・場所を選ばない様々なコミュニケーション

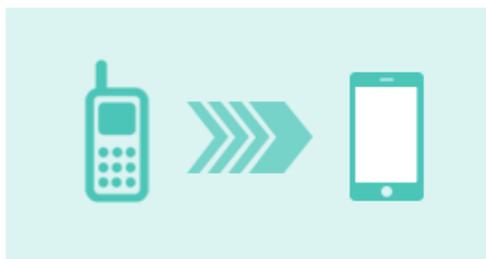


バーチャルでフラットなコミュニケーションの場



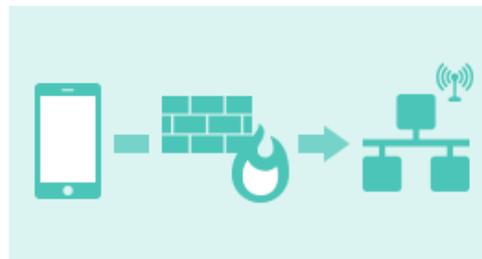
Anytime, Anywhere, Any Device

様々なデバイスから利用可能



- ・内線PHSはスマートフォンへリプレイス
- ・ポリシーに基づくデバイスの一括管理

セキュアで快適なネットワーク



- ・拠点無線LAN認証の共通化
- ・検疫とプロアクティブなモニタリング
- ・ネットワークの増強

環境統合



- ・コミュニケーション基盤の統合
- ・シングルユーザーIDの統合
- ・メールアドレスの統合

新たな働き方の実現に向けて コミュニケーションツールを選定

Anytime, Anywhere, Any Deviceが当たり前前の働き方に

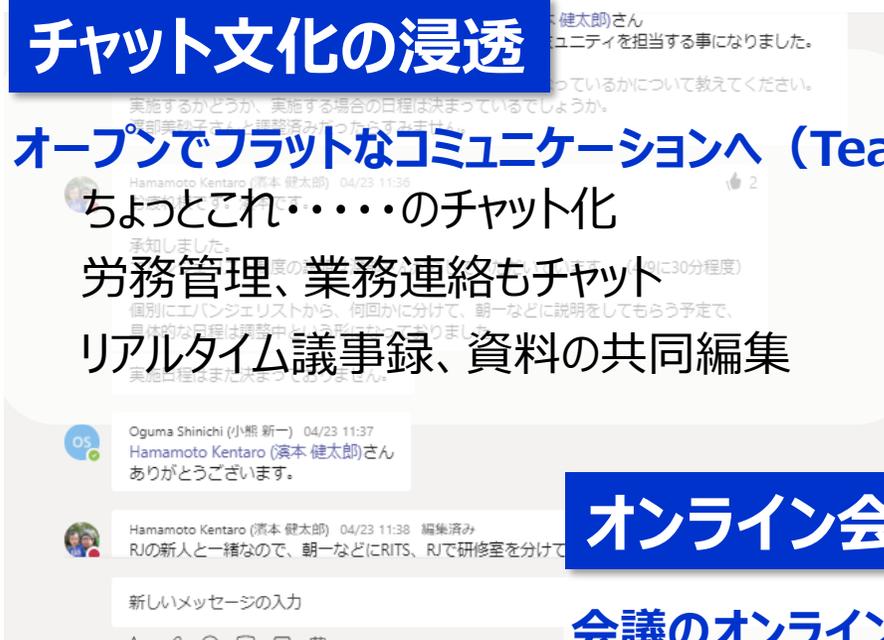
チャット文化の浸透

オープンでフラットなコミュニケーションへ (Teams)

ちよっとこれ……のチャット化

労務管理、業務連絡もチャット

リアルタイム議事録、資料の共同編集



スマートフォンの業務利用

外出先でもスマホでモバイルワークへ

スマホで審査・承認

スマホでプレゼン



オンライン会議のデファクト化

会議のオンライン参加が当たり前へ

Outlookスケジューラー : Teams会議デファクト設定

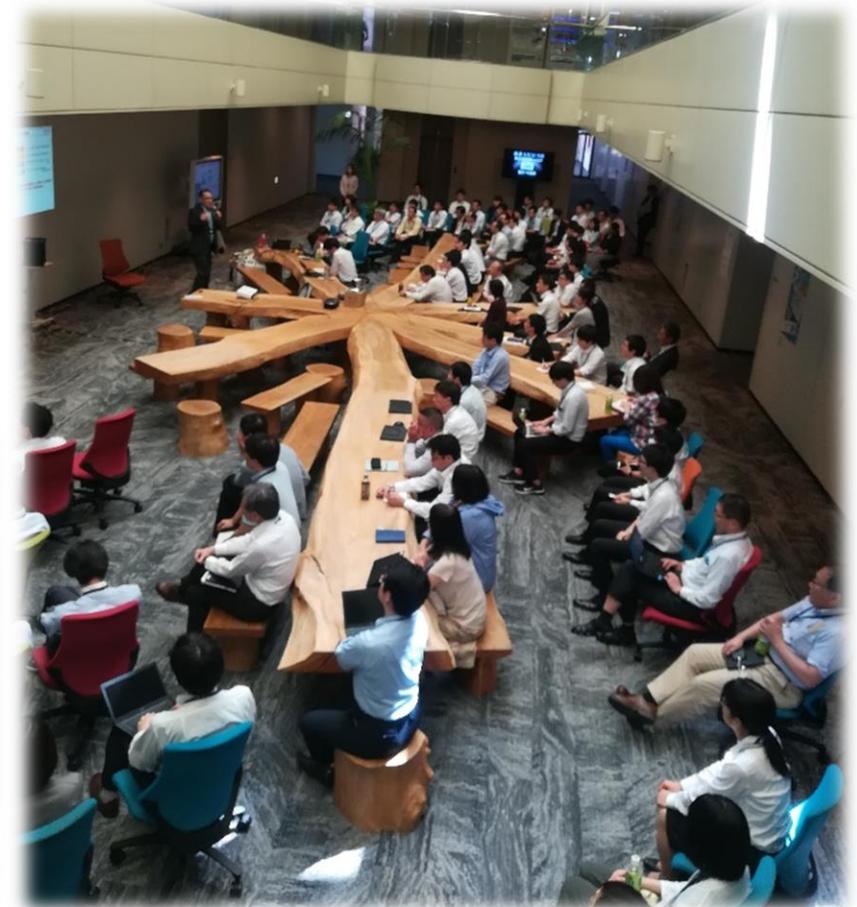
会議室のマイク常設 : いつでも、すぐに、つながる



仲町台新オフィス環境整備

Anywhereで働く仲間と「どこでも・すぐに・つながる」

多様で密度の濃いコミュニケーションの実現



※Solo Workスペースは敢えて設けない



24インチ「共有」液晶モニタを2台/島 配置



1席あたり
1200mm×700mm



偶発的なコミュニケーションの創出

予約不要ですぐ集まれるスペース



知識創造と協創を促す会議室



移転時のペーパーレス対応

文書廃棄**180箱** キャビネ数
文書保管**104箱** **8割減**

個人の荷物は
ロッカー 1つ分のみ

IWB&UCS/
大型ディスプレイ

マイク・
スピーカー常設

配線の統一
(HDMI)

すぐにつながる会議室

組織長が一人遠隔地においてもマネジメントができる事を証明「遠隔上司」

部長一人が**秋田事業所**に。部員は本社事業所・在宅勤務（2015年10月～）

出社から退社
まで常時接続



① 業務の在り方見直し

- ・ 業務の可視化と標準化
- ・ 紙を扱う業務を極力なくす
- ・ チームリーダーへの権限移譲

② ITツールの活用で部長は遠隔地なのに “一緒に働いている”感覚を実現（常時接続）

- ・ 実際に傍にいなくてもメンバーとつながっている感覚
（いつでも声をかけられる・顔が見えている安心感）

リコーグループの働き方変革施策を活用し従来の働き方をさらにレベルアップ

テレワークの先行実践

全社申請ルールの簡素化と部門での運用

- ・週報事前申請、日報の廃止
- ・Teamsによる部門での管理

意識変革プロモーション

最適な働き方を自ら考え選択するという理念を一人ひとりが理解し、腹落ちして取り組む

- ・F2F座談会
- ・社内SNSでの発信

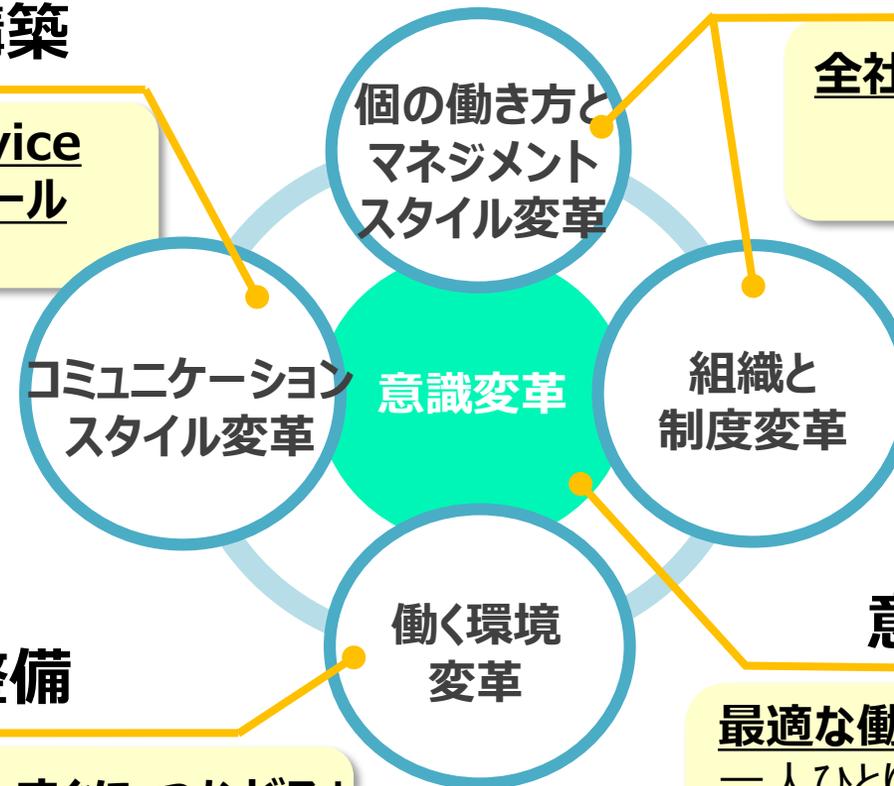
IT環境の総合的な再構築

Anytime, Anywhere, Any Device
を実現する新たなコミュニケーションツール

- ・Notes Exit & O365導入

仲町台新オフィス環境整備

Anywhereで働く仲間と「どこでも・すぐに・つながる」
多様で密度の濃いコミュニケーションの実現





働き方変革 その先へ

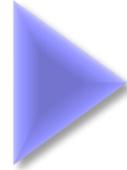


さらなる飛躍へ 「働き方改革 その先へ」

テレワークを使った Wellbeing と生産性向上の実現

■ テレワークを使い分ける
のが当たり前

**社員の98%
が実践**



■ テレワークで生産性が
上がらないと意味がない

「その先へ」ゴール：

- ①一人ひとりがWLMを実現しながらはたらく**喜び**をもって働いている
- ②その結果として、**組織の生産性が上がっている**

With/Afterコロナでは、

既存の働き方にとらわれない、リコー ITソリューションズらしい先進的な働き方を実現するために
個人・組織・地域の状況に合わせて一人ひとりが**最適な働き方を選択**できるようにする

1. **仕事の在り方の再定義** (制度・業務・環境・意識変革) → 見直し・継続強化
2. **オフィスの在り方の再定義**

新しい働き方の標準化

- 自律的に働く時間や場所を選択して、生産性高く働く。(※)
- デジタルサービスの会社となるべく、アナログな業務プロセスは徹底的にデジタルに変換していく。



- ※生産性高く働くとは |
- リモートワークで通勤・移動時間削減、断捨離・デジタル化で作業工数を削減。
 - 削減した時間で本来やるべき業務を実施。自己研鑽・コミュニティ参加など、業務へのインプットや人脈形成も可能に。

RICOH
imagine. change.